

| 事業所名 | Solverde global kids | | | 公表日 | 2024年 4月 15日 | |
|---------|----------------------|--|-----|---------|--|--|
| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 5 | 0 | 基準の要件を満たしている。 二つに分けていた部屋を1つにぶち抜き広く使用している。 | |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 5 | 0 | 児発管1・管理者1(兼務可) +指導員 | 有資格者かつ外国籍のお子様にも対応できるスタッフの育成 |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 5 | 0 | 発達支援室入口、玩具、また掲示物が過剰にならないように整理している。 導線、角にはクッションを貼ってあり、援助が必要なお子さまが利用する場合はスタッフが迎えている。 | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 5 | 0 | 毎レッスン後次亜塩素酸での消毒や換気を実施。必要に応じて、部屋を区切っている。動と静の空間を、場面に応じて、区分け、すみ分けしている。 | |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 5 | 0 | 場面に応じて、あんぜんあんしんを確保、環境調整している | 法改定後手狭に感じることが想定されるため、引越しも検討している。 |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。 | 4 | 1 | 指導前と後の2度はスタッフが集まり、支援の振り返りを行い、改善点・提案があればすぐに実施するようにし、結果を評価している。QCとしてノウハウとしていっている。 | 週1出勤のパート全てを周知することが難しいため、研修システムをより充実させていく |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 4 | 1 | 評価表でのアンケート調査や直接保護者様への聞き取りを行ない、その都度スタッフと共有、改善策についての話し合いの場を持つことで業務改善へとつなげている。 | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 5 | 0 | 指導前後の2度はスタッフ全員が集まり、支援の振り返りを行い、改善点・提案があればすぐに実施するようにし、結果を評価している。QCとしてノウハウとしていっている。 | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 3 | 2 | リタリコのアセスメントツールを使用、それを基にアセスメントツールの検討や、スタッフの専門性向上のための研修を取り入れる等、業務改善へとつなげていく。 | |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 5 | 0 | 社内研修を定期的実施。リタリコオンライン研修や強度行動障害者支援者研修など外部講師への参加も促し、技術知識意欲の向上に努めている。 | |
| 適切な支援の提 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 5 | 0 | 報酬改定も機会に、各プログラムが作成されている。法人理念・支援方針について、明文化・公表済。 | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | 5 | 0 | リタリコのアセスメントシートにより | |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 5 | 0 | 支援計画会議により、議事録を基に、非常勤スタッフへも共有している。 | |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 4 | 1 | 支援計画会議により、議事録を基に、非常勤スタッフへも共有している。 | 週1のパートは全てを周知することは困難なため、共有を端的にわかりやすく行う |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 3 | 2 | リタリコ発達段階シート | 常勤は使いこなしている |
| | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 3 | 2 | 報酬改定も機会に、ガイドラインに従い設定している。 | 移行支援にも注力できるようスタッフ育成を強化する |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 5 | 0 | 指導前後2度はスタッフがあつまり、支援の振り返りを行い、立案している。非常勤スタッフへも共有している。 | プログラム案の保存など検討の余地あり。 次回以降のレッスン準備時間の削減の為。 |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 3 | 2 | クラスやレッスン別、またお子様の興味のある道具や活動を中心に行っており、保護者からの聞き取りを参考に、レッスン毎行なうミーティングにて、スタッフで支援内容を振り返り、立案している。 | パートスタッフは安パイなレッスンプログラムを選びがちだが、お子さまの成長を常に考えたものにしていくマインドを徹底していく |

| | | | | | | |
|--------------|----|--|---|---|---|---|
| 供 | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | 5 | 0 | 小グループレッスンの中で、お子様の状況や困り感に合わせて、個別活動と小集団活動とで分けており、お子様の活動の様子と保護者様との面談を基に計画を作成している。 | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 5 | 0 | レッスン前後2度はスタッフ全があつまり、支援の振り返りを行い、立案している。非常勤スタッフへも共有している。 | |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 5 | 0 | レッスン前後2度はスタッフがあつまり、支援の振り返りを行い、立案している。非常勤スタッフへも共有している。 | |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 4 | 1 | 記録はその日また翌出勤日に行ない、スタッフの振り返りにて検証、改善を行なっている。 | 記録内容の薄いスタッフもいるため、書き方のレクチャーも定期的に必要 |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 5 | 0 | 策定会議により、支援関係者によるモニタリングやスタッフでお子様様を確認・共有し、計画が適切かどうかを話し合っている。 | よくレッスンを休むお子さまのモニタリングが不十分になることがあるので、しっかり定期的に通っていただけるよう促す |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。 | 5 | 0 | プログラムにメリハリをつけて、子ども達が毎回のプレゼンテーションタイムで表現できる時間、休憩時間にゆったり過ごせる時間、新しいことにチャレンジ出来る時間と構成している | |
| | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | 5 | 0 | メインアクティビティや自由遊びの中でも自由選択の機会を複数設けている | |
| 関係機関や保護者との連携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 5 | 0 | 担当者または児童発達支援管理責任者が出席する。 | |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 3 | 2 | 主に電話での共有。対象児の通い先の担当者や連携を行っている。 | 保育所等訪問事業を検討している |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | 3 | 2 | 主に電話での共有。対象児の通い先の担当者や連携を行っている。 | 保育所等訪問事業を検討している |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | 3 | 2 | 保護者からのニーズも少ないため、就学前に利用していた施設との連携は年長から小学校就学の時のタイミングにほぼ限られている | 連携ができることを保護者に周知していく |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | 0 | 5 | 施設の規模の都合等あり、当事業所が小学6年生までの受入れとなっている為、放課後等デイサービスの終了時の引継ぎには関わっていない | 必要に応じて連携する |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | 3 | 2 | 他の児童発達支援センターなどの主催による研修を受講したり、見学をしたいと考えている。 | 機会が少ない |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | 5 | 0 | 近隣の元町商店街のイベントに定期的にお出かけをしたり、発表会を行うだけにとどまらず、インターネットで世界のお友達と繋がる活動を定期的に行っている(アメリカ、フランス、ハワイ等実績有) | 海外への修学旅行や民泊も計画している |
| | 33 | (自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。 | 0 | 5 | 参加に至っていない | 機会を設けられるよう関係機関と連携していく |
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 5 | 0 | 毎回、レッスン終了後に保護者様へのフィードバックの時間を設け、その日の活動内容やお子様様の様子を伝えたり、保護者様から最近の園や家での様子の聞き取りを行なっている。 | 面談の機会をふやしてもよさそう |
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 2 | 3 | 保護者様からの聞き取りを行なった際に、悩まれているご家族の方へお子様との関わり方や対処法の助言等をしている。一緒にモニタリングをしながらお話しを伺ったりしている。 | ペアトレのできるスタッフ育成に力を入れたい |
| | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 3 | 2 | 契約時、支援計画作成時、利用者負担明細書配布時など、管理者、児発管、主任が説明を行っている。 | 常勤のみが把握してる。パートスタッフにも周知が必要 |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 5 | 0 | 事前に保護者様へアンケートを実施。アセスメントの際に、児発管、管理者、主任が説明を行っている。 | |
| | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | 5 | 0 | 事前に保護者様へアンケートを実施。アセスメントの際に、児発管、管理者、主任が説明を行っている。 | |
| | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 5 | 0 | 児発管または管理者がいないに行っている。 | |

| | | | | | | |
|----------|--|--|---|---|--|--|
| 保護者への説明等 | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。 | 4 | 1 | パフォーマンスデー(発表会)や、フラダンスのお披露目会など、保護者同士の交流を出来る機会も設けている。 | 交流が少ないクラスもあるので、全員が参加しやすい環境を検討する |
| | 41 | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 4 | 1 | 話しやすい雰囲気、スペースの確保に努めている。緊急時など、必要に応じ迅速に対応している。 | 時間帯によってはすぐに対応が難しい場面もあるが、可能な限り最短な面談日や電話やメールでの対応をおこなっている |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | 5 | 0 | 保護者様と直接やり取りが可能な場合は、来所された際にお声かけし、活動の様子やお知らせを伝えている。インスタやリタリコ発達ナビでのブログの配信もしている。 | |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 5 | 0 | 全スタッフが、「個人情報の取り扱いについての誓約書」厳守している。個人情報に関する書面全てを鍵のかかる場所で保管し、また口頭などでも外部に漏らさないように厳守している。 | |
| | 44 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 4 | 1 | 発語が困難な子どもや活動の見通しが個別に必要な子どもには、個別の見通し表や絵カードを用いて、情報伝達や双方の確認を行なっている。 | 連絡手段をラインなども活用したい |
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 3 | 2 | パフォーマンスデー(発表会)や、フラダンスのお披露目会など、地域住民も招待。地域のイベント、特に元町商店街へ定期的に脚を運んでいる。 | 個人情報の観点から難しい部分もあるが、折り合いをつけていく |
| 非常時等の対応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 5 | 0 | 職員に対しては年間に必要回数の、発生を想定した訓練を実施。保護者に対しては、緊急時対応、感染症対応に関して、契約時と事業所内掲示を行なっている。 | 周知を増やす |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 4 | 1 | 年間に必要回数の、発生を想定した訓練を実施している。 | 帰宅困難になった場合を想定したもの等、もう少し踏み込んだ訓練を行う |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | 5 | 0 | 利用の見学時、利用開始前に聞き取りし、配慮事項、緊急時の対応を確認し、定期的に再確認を行っている。 | |
| | 49 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 5 | 0 | 検査結果、指示書を共有させていただき対応する。特別な配慮が必要な対象児童はいない | |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 5 | 0 | 安全点検（施設設備・戸外活動）、児童・保護者への安全指導、訓練・研修、再発防止策の徹底を行なっている。 | お子さまとの訓練はあるが、保護者同伴はないため、今後行っていく |
| | 51 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 5 | 0 | 通所時の注意喚起など適宜行っている。車乗り降り、道路横断、階段昇降、保護者が直接引き渡してもらえよう周知している。 | 時々ゆるんでいる様子が見られるので、大事なことは口酸っぱく毎回リマインドする |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 5 | 0 | 毎日有無を確認し、すみやかに報告・記録し、全スタッフに周知している。また、定期的に教室内の録画のモニタリングを実施し研修を行っている。 | |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 5 | 0 | 社内研修を実施し、また他事業所等で情報があった場合など適宜共有している。 | |
| 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 5 | 0 | 生命の危機となる場合などを想定し、計画する。今後該当がある場合には適切に対応していく。 | 今後ロープレなども取り入れ研修を行っていく | |